

■ 長崎海軍伝習所 伝習生名簿(第1期～第3期) / 合田一道作成(一部修正)

長崎海軍伝習所第1期生

艦長要員 (お目見得以上)	勸定格徒目付		永持 亨次郎	1	
	小十人組		矢田掘 景蔵	2	
	小普請組(発令時に小十人組に昇格)		勝 麟太郎▼	3	
一等士官要員	砲術指南役高島流		下曾根 次郎助	4	
士官要員 (与力、手代)	鉄砲方井上左太夫組与力	砲術	三浦 新十郎	5	
			蜷川 藤五郎	6	
	尾形 作左衛門		7		
	松島 鐸次郎		8		
	鉄砲方田付四郎兵衛組与力	造船	中島 三郎助	9	
			浦賀奉行組与力	運用	佐々倉 桐太郎▼
	鉄砲方江川太郎左衛門組手代	運用	鈴藤 勇次郎▼		11
			蒸気	望月 大象	12
				岩嶋 原八郎	13
				石井 修三	14
			長沢 鋼吉	15	
		技術士官要員 (手付、 長崎地役人)	浦賀奉行同心	航海測量	土屋 忠次郎
手付	航海天文		小野 友五郎▼	17	
			高柳 兵助	18	
			福岡 金吾	19	
長崎奉行小人目付	蒸気		兼松 亀次郎	20	
長崎奉行地役人			竹内 卯吉郎	21	
			吉田 鶴次郎	22	
			児島 半太郎	23	
下士官要員 (同心、 長崎地役人)	浦賀奉行同心	帆前運用	岩田 平作	24	
			浜口 興右衛門▼	25	
			飯田 敬之助	26	
	長崎奉行小目付	船頭	山田 八郎	27	
	長崎奉行地役人		武井 茂四郎	28	
			竹内 勝三郎	29	

下士官要員 ・ 職方 (同心、 長崎地役人)	浦賀奉行同心	船打建	春山 弁蔵▼	30
	長崎奉行地役人		池辺 竜右衛門	31
	浦賀同心		緒方 賢次郎	32
		帆縫	山本 金次郎▼	33
		鍛冶・火焚	欠員	
海兵隊要員 ・ 下士官	鉄砲方井上左太夫組同心	大砲	中村 泰助	34
			小笠原 庄三郎	35
			鈴木 儀右衛門	36
			小川 喜太郎	37
	鉄砲方田付四郎兵衛組同心		川下 作十郎	38
			関川 半次郎	39
			近藤 熊吉	40
			村田 小一郎	41
海兵隊要員 ・ 下士官 (長崎地役人)	長崎地役人	兵卒小頭	伴 梅太郎	42
			中尾 若治	43
			佐々木 門次郎	44
	浦賀奉行同心	太鼓打	金沢 種米之助	45
			関口 鉄之助	46
			福西 甚平	47
鉄砲方井上左太夫組同心	吉村 虎吉		48	
長崎奉行地役人				
兵要員 (職人)	平民 (浦賀奉行組)	船大工	熊蔵	49
			長吉	50
	駒次		51	
	七助		52	
	虎吉		53	
	平民 (鉄砲方江川太郎左衛門組)	鍛冶	喜太郎	54
			菊次郎	55
			吉太郎	56
			紋太郎	57
			栄蔵	58
			孫市	59
			仲次郎	60
			万五郎	61

兵要員 (水夫、火夫)	浦賀、塩飽水主	太助	62
	塩飽水主(後に加入)	水夫	平蔵
			市次郎
		清太郎	65
		岩五郎	66
		十太郎	67
		太吉	68
		小太郎	69
		源太郎	70
		嘉吉	71
		甚右衛門	72
		六兵衛	73
		利右衛門	74
		文吉	75
		佐吉	76
		幸吉	77
		勘助	78
		重兵衛	79
		林蔵	80
		市蔵	81
		嘉助	82
		定次郎	83
		辰蔵	84
		金蔵	85
		伊八	86

長崎海軍伝習所第2期生

【江戸より派遣】			
幕臣部屋住・厄介	大目付井沢美作守政義三男	伊沢 謹吉	1
	徒目付榎本円兵衛武規次男	榎本 釜次郎	2
	寄合松平安房守四男	松平 金之助	3
	作事下奉行勤方尾本藤左衛門伴	尾本 久作	4
幕臣部屋住・厄介 (遠国奉行組)	浦賀奉行組与力岡田増太郎弟	岡田 井蔵	5
	新潟奉行支配並杉浦三之助次男	杉浦 金次郎	6
	箱館奉行支配調役並	吉見 健之丞	7
伴 鉄太郎▼		8	
鉄砲方 江川太郎左衛門組	手代	安井 畑蔵	9
		柴 弘吉	10
		松岡 磐吉	11
	手代見習	肥田 浜五郎▼	12
【長崎地役人番方】			
海上警備全般	役所付	喜悅 平兵衛	13
	唐人番触頭取	中村 六之助	14
	唐人番	土屋 修三	15
		磯辺 春平	16
		山本 辰弥	17
		本荘 寛一	18
役所付	牧 権五郎	19	
	近藤 又兵衛	20	
	溝口 良左衛門	21	
	池島 豊之助	22	
	山本 得三	23	
	津田 辰次郎	24	
	松下 秀作	25	
	横山 森之助	26	
	竹内 清一郎	27	
	今井 泉三郎	28	
	鬼塚 辰之助	29	
	成瀬 米三郎	30	
	吉村 寛次郎	31	

算術・砲術

遠見番

喜悦 利十郎	32
吉村 幸五郎	33
戸田 秀吉	34
館 陽之助	35
戸瀬 栄之進	36
別府 富次郎	37

唐人番

今田 平三郎	38
松浦 原一	39
加藤 雄次郎	40
松江 精一	41

船番

矢野 熊三郎	42
三浦 為三郎	43
江崎 太吉	44
三浦 亀次郎	45
江崎 幸之助	46
成田 郡三郎	47
松下 豊三郎	48
野口 常次郎	49
久保山 悦作	50
野口 耕之進	51
福田 新十郎	52
米原 清治	53
諸熊 五三郎	54
村井 東光	55
吉田 長助	56
加藤 源之助	57
今井 源光	58
塩津 善十郎	59
今井 守衛 (泉三郎弟)	60
野口 多喜馬	61
藤川 三次郎	62
種田 堯之進	63
吉村 甚兵衛	64
伴 直十郎	65

	町司	吉村 金太夫	66
		猶岡 市十郎	67
		池島 秀十郎	68
		太田 郡蔵	69
		尾山 与市郎	70
		塚原 英次郎	71
		上原 東衛門	72
		野村 英治	73
		中山 慎吾	74
		井原 繁十郎	75
		牧 権蔵	76
		杉山 徳三郎(友之進弟)	77
【長崎代官】			
砲術・訓練	代官	高木 作右衛門	78
	代官弟	高木 助太郎	79
		高木 雅熊	80
築城・砲術	代官手代	村次 鉄之進	81
		牛島 東蔵	82
		若島 半蔵	83
		塚田 槌次郎	84
		井原 米次郎	85
	代官家来	奥田 荒二	86
		菊地 左源太	87
		千布 秀二郎	88
	【潮崎米蔵】		
砲術	潮崎米蔵預り	打橋 留吉	89
		西川 嘉平	90
		堀立 半次郎	91
航海・算術・砲術		大塚 鹿一郎	92
		神島 大吉	93
		伊藤 登次郎(見習)	94
運用・船具	船頭役見習	清水 美十郎	95
		辰五郎	96

長崎海軍伝習所第3期生

---	荒井 光太郎	蕃書調所句読教授出役、西丸裏門番之頭松下孫十郎組与力賢蔵伴	1
---	設楽 莞爾	蕃書調所句読教授出役、大番堀田豊前守組与力甚左衛門伴	2
航海造船	赤松 大三郎▼	蕃書調所句読教授出役、先手三浦美作守組与力吉沢雄之進次男	3
---	畠山 邦之助	小姓組	4
---	中山 一助		5
---	川上 万之照丞		6
---	万年 恒次郎	小晋請組石川主水支配世話役取扱三郎兵衛次男	7
---	沢鏝 太郎	箱館江戸書物用出役／奥火之番太八郎伴	8
---	河野 英次郎	小晋請小笠原順三郎組／蕃書調所教授出役	9
---	田邊 太一▼	学問所教授方出役、板倉主計家来蕃所調所教授手伝出役 120422／子孫からの指摘により、「田辺」から田邊へ修正	10
運用	根津 欽次郎▼	小晋請小笠原弥八郎組	11
---	田島 順輔	板倉主計家来蕃所調所教授手伝出役	12
---	兼松 亀次郎	小人目付(一期にも出席)	13
軍医	松本 良順	寄合医師良甫総領	14
---	高松 力蔵	小人組彦七郎次男	15
航海	海老原 伝次郎	天文方渋川助左衛門手附出役、作業下奉行孫三郎伴	16
---	久保 紀之助	小姓組秋田安房守組	17
---	白井 勇三郎	二条城蔵奉行達之進総領	18
---	斉藤 源蔵	蕃書調所勤番	19
航海	岸本 惣次郎	町野左近組徒天文方／足立左内手附手伝	20
---	倉橋 育之助	書院番白須甲斐守組	21
---	小笠原 鐘次郎	書院番戸川伊豆守組	22
---	小笠原 静次郎	鐘次郎養方叔父	23
---	高橋 参彦	箱館江戸書物用出役、富士見宝蔵番中山栄太郎組清之丞三男	24
---	小暮 東之輔	箱館江戸書物用出役、量奉行格晋請方下奉行又右衛門総領孫	25
蒸気	朝夷 健次郎	浦賀奉行組与力	26
砲術	合原 操蔵	浦賀奉行組与力	27
---	柴田 真一郎	浦賀奉行同心	28

蒸気	竹川 竜之介	箱館江戸書物用出役、新潟奉行支配勘定格広間役竜太郎伴	29
--	力石 太郎	箱館江戸書物用出役、箱館奉行支配組頭勝之助総領	30
航海	蛭子 末次郎		31
蒸気	小杉 雅之進▼	御賄御酒役世話役、長崎奉行支配調役並出役右藤次第	32
--	高橋 泰平		33
--	中村 六三郎		34

合田一道『咸臨丸 栄光と悲劇の5000日』(北海道新聞社、2000年)から(一部修正)。
